

# 平成23年度 豊浦町財務書類4表(概要版)

地方公会計制度改革として、従来の現金主義・単式簿記を特徴とする現行の官庁会計に対し、発生主義・複式簿記の考えを取り入れた新しい公会計制度に基づく財務書類4表を作成しました。

平成23年度においても、前年度同様に、数値や指標はほぼ参考値内か上回っており、健全な財政状況であると言えます。なお、実4表については、平成23年度財務書類4表(一般会計)・(単体会計)・(連結会計)をご覧ください。

【総務省方式改訂モデル】

・作成基準日:平成24年3月31日 ・対象範囲:普通会計(一般会計)

## 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表(バランスシート)とは、住民サービスを提供するために町が保有している土地・建物及び現金などの資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表した表です。

資産の部(所有する財産の金額)		負債の部(将来世代が負担する金額)	
公共資産 (道路・学校・公園などの土地や建物)	22,011,751 千円	固定負債 (地方債(借金)、退職手当引当金など)	6,006,164 千円
投資等 (基金、出資金、長期延滞債権など)	3,137,368 千円	流動負債 (翌年度償還予定地方債、賞与引当金など)	566,413 千円
流動資産 (現金・預金・町税未収金など)	2,570,886 千円	負債合計	6,572,577 千円
		純資産の部(これまでの世代が負担した金額)	
		純資産合計	21,147,428 千円
<b>資産合計</b>	<b>27,720,005 千円</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>27,720,005 千円</b>

## 行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、1年間の資産形成に結びつかない行政サービスに係る費用と、その行政サービスの直接対価として得られた使用料・手数料などの収益を対比させたものです。

経常費用 (A)	4,566,424 千円
人にかかるコスト (職員給与など)	634,413 千円
物にかかるコスト (物件費、減価償却費など)	1,597,400 千円
移動支的的なコスト (社会保障費、他会計への支出など)	2,256,469 千円
その他のコスト (地方債利子など)	78,142 千円
経常収益(使用料・手数料など) (B)	175,599 千円
純経常コスト (A) - (B)	4,390,825 千円

## 純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを示したもので、今までの世代が負担した額の変動を表したものです。

期首純資産残高	21,576,055 千円
当期変動額	△428,627 千円
純経常行政コスト	△4,390,825 千円
資産形成のため受入れた財源 (町税、地方交付税、国・道支出金等)	3,937,047 千円
その他(災害復旧事業費等)	25,151 千円
期末純資産残高	21,147,428 千円

## 資金収支計算書

資金収支計算書とは、行政活動に伴う現金等の資金の流れを3つの性質に区分し示したもので、どのような活動に資金が必要となったのかを表したものです。

期首歳計現金残高	264,184 千円
経常的収支 (町税、国庫支出金など)	1,353,467 千円
公共資産整備収支 (公共資産整備支出など)	△266,653 千円
投資・財務的収支 (投資及び出資金など)	△1,197,728 千円
期末歳計現金残高	153,270 千円

## 住民1人あたりの貸借対照表

資産  6,307千円	負債 (将来世代負担) 1,495千円
	純資産 (今までの世代負担) 4,812千円